

# HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 瀬戸 誠 幹事前 肇 会報委員長 鈴木和夫



## 人類に奉仕するロータリー

2016年～2017年度国際ロータリー会長  
ジョン・ジャーム

第1512例会 2016年9月15(木)(曇/雨)

司会 柳川清紀副幹事

点鐘 瀬戸誠会長

合唱 「それでこそロータリー」(酒井健一さん)

ビジター紹介 (株) 玄 代表取締役社長 井出隆夫様

(株) 湘南ウィル 代表取締役社長 柳川正人様

お誕生記念日 <奥様・ご主人> 陶山和美さん (9/25)

会社創業記念日 諸星常平さん (9/15)

### 会長の時間

○ 今日は何の日、今日は“老人の日”です。この日が以前“敬老の日”であったため、現在の敬老の日は9月第三月曜日に変更になっています。この日は老人の福祉について関心と理解をもって頂きたいという思いがあります。

また、平成20年9月15日に何があったのかと言いますと、リーマンブラザーズが経営破綻した日です。ここから数か月は皆さんもたいへんで、二度と経験したくない嫌な思いをされたわけです。

○ 今日は今年度の年度計画であります「企業人卓話」を満を持して井出さんに依頼をしました。テーマがありまして「挑戦する漢(朴)たち」ということで、今日の卓話を聞いて頂ければこの意味の趣旨が良く分かります。

この企業人卓話の目的は何か？と言いますと、私が会員増強とか若い会員の方と接してよく思うのが、ロータリーというのは年会費も含め年間にかかる費用が結構多額になってしまう、それは相当な見返りがないと会員増強も会員維持も難しくなります。ロータリーのことをどのような立派な団体だと先輩会員の方が説明しても、費用を負担するのはその会員本人ですから投対効果が大事だと思います。

ロータリーに入って投対効果が得られたんだと思えるようにしたいわけで、そこで企業人卓話を聞いて発奮して自己啓発がわかり頑張るって仕事をしようという気持ちになり、その刺激が年間何回もあれば費用を払ってもこれは決して損ではないという認識になるのではないかと思います。お金を投資しても見返りがあるものがあるということになれば今後入会して頂ける方が現れるだろうという考えに基づいて今回の企業人卓話を計画いたしました。

私のアナウンスが遅れてしまいましたが、今後企業人卓話の際はご子息や自社の幹部の方がおられれば大変になる卓話なので是非参加して下さい。

○ ガバナー事務所より

特に無し

会員数	34名
出席数	25名
出席率	73.53%
前々回の修正	—%

メイクアップ	
--------	--

本日のプログラム	9月15日 ○企業人卓話 井出隆夫さん
----------	---------------------------

次週のプログラム	9月22日 ○休会 9月29日 ○夜間例会
----------	--------------------------------

## 幹事報告

### 【受付文書】

1. 赤い羽根共同募金への協力のお祝い
2. 第69回秦野たばこ祭ご協賛お礼
3. ローターよねやま記念奨学会より、ハイライトよねやま198が届きました。
4. 国際ソロプチミスト秦野より、認証30周年記念誌が届きました。

### 【例会変更】

〔寒川〕10月10日(月) → 休会(祝日)  
17日(月) → 16日(日)地区大会に振替  
12:30点鐘  
於：秦野市文化会館

## スマイル報告

- (株) 玄 代表取締役社長 井出隆夫様(平塚湘南)  
「本日はよろしくお祈いします。」
- (株) 湘南ウィル 代表取締役社長 柳川正人様(平塚)  
「お世話になります。」
- 瀬戸誠さん「今日は井出さんの卓話です。よくおいで頂き、ありがとうございます。本日はよろしくお祈いします。」
- 前肇さん「スマイルします。」
- 柳川清紀さん「本日は仲秋の名月だそうですね！」
- 原郁夫さん「スマイルします。」
- 諸星道治さん「スマイルします。(株)玄 代表取締役社長井出さん、名水ロータリークラブへようこそ。卓話楽しみにしています。」
- 陶山典之さん「妻の誕生日プレゼントありがとうございます。」
- 高橋幸雄さん「柳川さん、名水RCへようこそ、本日はよくいらっしやいました。楽しい時間を過ごして下さい。」
- 北村まり子さん「井出様、今日の卓話楽しみにしていました。よろしくお祈い致します。」
- 関隆明さん「スマイルします。」
- 木村眞澄さん「敬老の日も近づきました。スマイルします。」
- 山谷洋子さん「9/18(日)中学生英語スピーチコンテスト13:30~開催します。皆さんどうぞご参加下さい。お祈いします。」
- 諸星利男さん 「スマイルします。」

- 古谷スミ子さん「井出様の卓話楽しみにしております。お忙しい中ありがとうございます。よろしくお祈い致します。」

合計 39,000円

## 委員会及びその他の報告

- R財団監査委員会・委員 酒井健一さん  
財団の補助金の監査を実施しました。今回は10件の申請があり、いろいろ審査を行いました。殆どが認められましたので、昨日をもって補助金の監査は終了しました。
- 消防自動車派遣委員会 高橋幸雄委員長  
タイの方から古谷年度で送った消防自動車を県知事や市長さん列席の贈呈式の写真が届きましたので、皆さんご覧になって下さい。



- 社会奉仕委員会 小澤賢委員長  
10月15日(土)にクリーンキャンペーンを行います。朝集合が早いですが、皆さんのご協力をお願い致します。

## 企業人卓話

(株) 玄 代表取締役社長 井出隆夫様



下記の通り要点のみ纏めました。

## 1. ご自身の略歴紹介（レジメの通り）

## 2. 経営上大切にしている四つのこと

### ① “理念” です。

家訓とよく言われるが、企業はそれは“理念”だと思っています。この“理念”の継承が永続することが一番の大切なことではないだろうか。

我が社の経営理念は「お客様に喜ばれ 愛される 人づくり・店づくり」です。

新人教育の際に、一番大切なことは何で仕事をするのかという考え方をきちんと教えていかないと間違った行動をしてしまいます。私は仕事とは「人の役にたつ」ということが一番との考え方です。

私のお店がどのように人の役にたつのかというと、ア：より美しく、イ：より若く、ウ：より健康、エ：より元気になって頂く、この四つのことのお役にたてるのが我がお店だと思っています。

### ② “弟子の育成” です。

経営理念にもあるように、人づくりが一番大切だと思っています。その中で“人材教育”をメインにしており、私は教育の最終目的は自立だと思っています。

それは大学や学歴のあるなしではなく、スペシャリストの時代で自分の足で歩いていけることだと思っています。

### ③ “職人魂” です。

これは“品質の向上”です。うちの技術・店づくり・接客サービスといったものを常に「もっともっと」を合言葉に「もっとお客様に喜んでもらおう、もっとお客様に喜んでもらおう」とすると自分の理想ができるわけです。そうすると今の現実があり理想とのギャップがあるわけで、そのギャップが問題点になるのです。もっとお客様に喜んでもらおうというのが私の一番の顧客満足になるわけです。

### ④ “変化対応” です。

お客様のニーズが毎年毎年変わってきます。よってそのニーズにこたえるために、“変化対応”が重要になってきます。

変革や進化、時代のニーズによってどれだけ変えていくか。変革という字は「革を一枚変える」だけなんです。そんなにおこがましくするものではないのです。理容→美容→エステ→ネイル→アイラッシュという、髪だけでなくお客様にもっと喜んでもらおうとの思いでここまで表面を広げました。

ここまでになったのは自分の目標ではなく社員に喜んでもらう目標、自分の考えが変わったのです。

そうして考え方が変わると、自分の行動が変わります。

自分の行動が変わると結果・成果が変わります。

変革と話していますが何を変革するののかと言いますと、「凡事徹底」なのです。当たり前のことを当たり前にする、当たり前のことを人よりちょっと上手くやる、当たり前のことを継続するこれしかありません。当たり前のことを10年20年と継続していくと「凡事一流」になるわけです。

変革・進化しないといけないと言っても、実際は当たり前のことを当たり前にしつかり毎日やっていくということが一番の変革の形ではないかと思っています。



そしてこれからの10年は“事業継承”だと思っています。事業をバトンタッチしていく上で、私自身が大切にしなければならないことは「謙虚さ」だと思っています。原点に戻って、お客様の声・スタッフの声を素直にどれだけ聞けるかということが一番大切と思っています。素直に聞くことが、お店や幸せな会社を作っていくことだとも思います。

最後に私自身がいつも考えていることは先に話しましたように、

ア：考え方が変われば行動が変わります。

イ：行動が変われば習慣が変わります。

ウ：習慣が変われば人格が変わります。

エ：人格が変われば運命が変わります。

オ：運命が変われば人生が変わります。

私自身「破産」から本当に人生が変わったと体験を通して思えます。

これから私自身の考えとしては、若い理容師たちが夢を持てるような業界にしていくことが、私自身の最後の仕事かなと思っており、これからも頑張っていきますのでご指導の下よろしくお願ひ致します。

本日はありがとうございました。